令和２年度第１回伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会書面会議の結果について

１．令和２年度第１回伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会書面会議の概要について

（１）書面会議期間　　令和３年１月２６日（火）から令和３年２月１２日（金）まで

（２）書面会議の実施方法

①返信期日を定めて、委員会資料及び各施策外部評価シートを全委員に送付

②書面による評価は、外部評価シートにより、一施策ごとに実施。また、各施策に意見のある委員はシートの意見記入欄に記入する。

（３）協議事項

①第４期伊勢原市地域福祉計画の点検・評価について【資料１】

（４）報告事項

①第４期伊勢原市地域福祉計画の一部改定について

（５）主な意見及び回答

【総合評価】　Ａ：目標達成　　Ｂ：概ね達成　　Ｃ：未達成　　Ｄ：その他

基本目標１　助け合い・支え合いを担う人づくり

1-1　福祉意識の高揚（資料3Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 人権啓発講演会の開催	人権・広聴相談課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 担当課は異なりますが、人権啓発講演会と人権セミナーはよく似ています。差別化を図る必要があると思います。 ● 家庭内おける男女差別も男女共同参画社会構築の阻害要因の一部だと思います。男女が互いに尊重し、協力し合い、社会的支援を活用しながらそれぞれの役割を果たすことがよりよい社会の構築につながると思います。	A
施策② 福祉展の開催	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 福祉展への出品を目標に毎年創作活動しています。障がいのある方たちの感性や力を多くの参観者に見ていただく場なので、今後も何らかの形で継続してほしい。 ● 見学者が少なかった日もあったようです。広報の仕方を工夫してください。	A
施策③ 人権セミナーの開催	社会教育課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● Ｈ２９年世論調査では、１７．７９％の人が同和問題を知らない様でした。同和問題を解決するためには、正しい知識を身につけることが何よりも大切だと思います。 ● 便利で豊かな現代、インターネットの使い方ひとつでも人を傷つける道具になります。小中学生等青少年の利用が年々増加している中、ＳＮＳ等による誹謗中傷等、子どもが被害を受けるだけでなく、加害者になる事案も発生しています。私たち大人はその危険性やモラル、マナーを子ども達に伝えていくことが大切だと思います。	A
施策④ 子ども映画会の開催	社会教育課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 人権・同和教育は特に重要だと思います。 ● 人権セミナーと共に子どもへの人権教育は重要です。小規模の形でも続けてほしいと思います。	A

1-2　ボランティアの育成・支援（資料4Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 介護支援ボランティアポイント事業	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● ボランティア登録数だけではなく、累積ポイントの合計も評価の対象とすべきです。	A
施策② ボランティア講座の開設事業	社会福祉協議会	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 若年層の人材育成を図るため、講座内容の見直しを検討してみてはいかがでしょうか ● その他ボランティア講座の参加者数が少ない。講座内容の見直しが必要ではないでしょうか。	B
施策③ ボランティアセンター運営事業	社会福祉協議会	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 数値としては目標を達成してますが、登録団体の情報交換会への参加が少なくなっていることが気がかりです。 ● 登録団体が実際のボランティア活動に結びついたかが重要なので、それを記載していただきたい。	B

1-3　福祉教育の充実 （資料5Ｐ・6Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 職員研修の開催	職員課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● コロナ禍における対応等も必要な職場環境であるので、様々な取組を進めていただきたい。	B
施策② 福祉作文の募集	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策③ シニア体験セットの貸出し	福祉総務課	**【質疑①】** ● 具体的に事業の内容が理解できません。 **【回答①】** ○ 老化に伴う身体的・心理的な変化を疑似体験し、日常生活を送る上で高齢者が抱える思いなどを実感、理解することで、人に優しい社会環境、生活環境づくりの啓発を図るため、シニア体験セットを貸出しする事業です。 **【質疑②】** ● 疑似体験をすることでバリアフリーへの理解を促すいい事業である。貸出し事業があることはどのように周知されているのでしょうか。 **【回答②】** ○ 市ホームページにより周知しており、貸出対象は学校やＰＴＡなど団体向けとなっています。 **【主な意見】** ● インスタントシニアの貸出し以外にも、バリアフリーへの理解を促進するツールの開発も必要ではないでしょうか。 ● セットの貸出し数が少ない。広報が不足しているのではないでしょうか。	A
施策④ 人権教育研修会等の開催	教育総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 社会教育課、人権・広聴相談課も同様の講座・研修会を開催している。それぞれの対象者を明らかにし、差別化を図る必要があるのではないでしょうか。 ● 研修会の開催方法の検討も必要であると思います。 ● 研修会の内容が示されないと評価しにくいです。	A
施策⑤ 人権教育の実施	教育指導課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 研修会の内容が示されないと評価しにくいです。	A

1-4　地域福祉を支える人材の育成（資料7Ｐ・8Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 地域福祉の担い手の育成 【重点目標】	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 多くの市民が地域福祉への関心を持って受講することで活動の担い手の育成につながると思います。コロナ禍ではありますが、今後も講座の形式等を考えて実施してほしいと思います。 ● 地域福祉の担い手がそれぞれ何をしているのか把握に努めてほしい。	A
施策② こころサポーター養成事業	障がい福祉課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 講座の受講者数の増加を望みます。 ● 社会情勢等から自殺者の増加も懸念され、サポーターの養成は重要だと思います。 ● ゲートキーパーの増加とスキルアップが課題だと思います。	B
施策③ 介護予防サポーター養成・育成事業	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 傾聴ボランティアの養成は重要だと思います。	A

1-4　地域福祉を支える人材の育成（資料7Ｐ・8Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策④ ヘルスメイト養成・育成事業	健康づくり課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 目標に対する実施率で、養成講座が７５％、育成事業が１３３％となっており、全体として概ね達成である。 ● 事業評価方法として、回数だけでなく参加人数がわかった方がわかりやすいと思います。 ● ヘルスメイトの地域での活動について周知してほしい。	A
施策⑤ 健康いせはらサポーター養成・育成事業	健康づくり課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 健康づくりのサポートをしたいという潜在的な市民ニーズはあると思いますので、そのニーズに応えられる様なサポーター養成事業を実施してほしいです。 ● 養成・育成事業の内容の見直しも検討すべきではないでしょうか	B
施策⑥ 子育てサポーター養成事業	子育て支援課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 実活動者数が確保されていることは良いことだと思います。新規サポーターの養成、増員は今後も続けてほしいです。 ● 毎年、一定数の新規サポーターが加わる事ができるように工夫していただきたい。 ● 市の子育て支援体制が大きく変わろうとしている中で、子育てサポーターの役割を見直していただきたい。	B

基本目標２　みんなで助け合い、支え合える地域づくり

2-1　地域の支え合い・助け合い活動の推進（資料9Ｐ・10Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 地域住民の支え合い組織の啓発・支援　【重点目標】	福祉総務課	**【質疑】** ● 地域の支えあい組織は自治会が設置しないといけないのですか。 **【回答】** ○ 地域における生活課題や福祉課題への対応にあたっては、地域の中で問題を解決し、改善していくことが重要だと考えています。市といたしましては、自治会単位で様々な団体が連携して地域福祉活動を行う地域の支え合い活動を支援していきます。 **【主な意見】** ● 民生委員等の力を借りるなど、活動の成果が見えています。また、地域の支え合いには自治会の協力も必要だと思います。 ● 大学生との連携を図ったことは大変良かったと思います。活動を継続し、他の自治会への広がりにつながっていくといいと思います。	A
施策② 市民協働推進事業	市民協働課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 提案型協働事業がさらに促進されるようなサポート体制が必要ではないでしょうか。	B
施策③ 地域活動支援事業	市民協働課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 自治会の在り方、加入への勧誘方法等を見直す必要があるのではないでしょうか。これまでと同じ方法で加入率アップを図るのは困難だと思います。 ● 自治会加入世帯数だけではなく、加入割合も目標指数とすべきです。	B
施策④ 市民活動災害補償制度	市民協働課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 市民活動災害補償制度について、広く周知してください。	A
施策⑤ 社会福祉協議会運営助成事業	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 社会福祉協議会への助成金がどのように使われているか担当としてチェックしてください。	A
施策⑥ 地域包括ケア体制構築事業	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策⑦ ミニデイ（ミニサロン）事業	社会福祉協議会 介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 地域での団体活動の継続や新規団体への支援は重要です。 ● 担い手の高齢化が伺われます。次世代の担い手の養成が急務と思われます。	A
施策⑧ ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 育児支援のための有効な事業と思われますので、養成講座受講者数が少ない原因等を分析し、支援会員の増員を図るなど、ニーズに応えてほしいです。 ● 担い手確保のためには、何らかの抜本的なアイディアが必要だと思います。 ● 人と人のつながりが強く求められているため、事業実施について広報活動が必要だと思いました。 ● 支援会員の実態把握は必要だと思います。	B
施策⑨ 子育てグループ活動支援	子育て支援課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● どのような支援、情報が提供されたのか示していただきたい。 ● 子育て支援関係サークルの実態把握は必要だと思います。	A

2-2　地域での交流する機会や場づくり（資料11Ｐ～13Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 市民活動サポートセンター	市民協働課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 多くの団体に利用されています。サポートセンターからの情報発信も定期的に行われていて便利です。 ● 市民活動推進の質がアップしたのかを図るべきではないでしょうか。	A
施策② 地域集会所（５施設）	市民協働課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 施設の活用実態を周知してほしいです。	A
施策③ 地域コミュニティ推進事業	市民協働課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● コミュニティセンターの活用実態を周知してほしいです。	B
施策④ 空き店舗等の有効活用	商工観光課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● すぐには実績として表れないとは思いますが、地域商店街団体等と協力し合って、事業を続けていくことが大事だと思います。 ● 状況確認、制度周知の段階から次の段階に進むべき時期に来ているのではないでしょうか。例えば、使用希望者とのマッチングの機会の提供など ● どんどん推進していただきたいです。情報の発信方法など、工夫が必要だと思います。	B
施策⑤ 福祉館（４施設）	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 利用者の満足度等の評価も加えてほしいです。 ● 施設の活用実態を周知してほしいです。	A
施策⑥ 老人福祉センター	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 地域老人会の活動も少人数で行うなど苦労しています。 ● 利用者の満足度等の評価も加えていただきたい。 ● 今後もコロナとの共存という部分で、課題もあるかと思いますが、自宅で個々にできる活動について発信してもらえるといいなと思います。	B
施策⑦ 坪ノ内老人憩の家	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 地域の老人会と協力し、成果が出るようにお願いします。 ● 「老人福祉センター」と合わせて実績数は概ね達成しているので、今後はコロナ禍の影響を考慮し、施設の利用ができるようにお願いします。 ● 施設の活用実態を周知してほしいです。	B
施策⑧ 老人クラブ育成事業	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 地域の老人会と協力し、成果が出るようにお願いします。 ● 前年度(H30年度)に続き、実績数が目標値に達していませんが、高齢者の生きがいづくりの活動の場となるように事業継続に力を入れてください。 ● 老人クラブの加入者について、全体の高齢者人口からするとかなり少ないのではないでしょうか。今後、組織の在り方そのものを検討すべきだと思います。 ● 会員数の報告だけではなく、担当課としてどのような支援をしているのか報告してください。	C
施策⑨ 児童館	青少年課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 児童館に対するニーズは高いので、サービスをさらに充実させてください。	A

2-2　地域での交流する機会や場づくり（資料11Ｐ～13Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策⑩ 公民館（７館）	社会教育課	**【質疑】** ● 事業評価などの理由の記載内容が間違っているのではないか **【回答】** ○ 御指摘のとおり、記載誤りがありました。正しくは次のとおりです。 ※ 各公民館活動推進協議会からの意見や受講者のアンケート結果等を反映させることで、多様なニーズに応じた学級や講座等を開催することができたため **【主な意見】** ● 講座の参加者数からの評価も必要ではないでしょうか	B
施策⑪ 高齢者学級の開催	社会教育課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 参加者数から捉える評価も必要ではないでしょうか。 ● ７公民館それぞれで、高齢者学級がどのくらい開催できたのか周知していただきたい。	A

2-3　誰もが住みやすいまちづくりの推進（資料14Ｐ・15Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 公共施設のバリアフリー化の推進	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 実績なしでは評価ができません。今後バリアフリー化の改修を実施する公共施設の計画等はできているのでしょうか。	D
施策② 神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例に基づく啓発・指導	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 民間事業者にどのような働きかけをしているのか周知していただきたい。	A
施策③ 住宅改修サービス事業	障がい福祉課	**【質疑】** ● 要介護者の助成支援は進んでいると利用件数から判断できますが、障がい者の利用が少ないのはなぜですか。 **【回答】** ○ 障がい者福祉制度による住宅改修サービスは、重度障がい者を対象としており、また、要介護認定を受けた重度障がい者の場合は、法制度上、介護保険制度による住宅改修サービスが優先され、対象者が限られていることが利用の少ない要因の一つと考えられます。 なお、制度周知については「障がい福祉制度案内ガイドブック」により対象となる方に周知しております。 【主な意見】 ● 障がい者については、目標設定がされていないため、評価が難しいです。	B
	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	B
施策④ やまどり号運行事業	社会福祉協議会 障がい福祉課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策⑤ 公共交通機関との連携	都市政策課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策⑥ 公共施設等の改善	道路整備課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 市内ではまだ整備の必要な箇所が見受けられます。引き続きバリアフリー化を進めていただきたい。 ● 道路の整備は今後も進めていただきたい。	B

2-4　地域の防災・防犯活動の推進（資料16Ｐ・17Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 防災訓練等の実施	危機管理課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 自主防災レーダー研修の参加者が大きく増加したことは心強い。自然災害に備え対策は必要だと思います。	A
施策② 災害時要援護者支援制度	福祉総務課 障がい福祉課 介護高齢課	**【質疑】** ● 要援護者の名簿の管理と更新ができていますか。 **【回答】** ○ 災害時要援護者避難支援制度における情報更新については、年２回、２月と８月に実施しています。要援護者登録名簿については、事務所管課である福祉総務課で保管･管理しています。また、個人情報提供の同意をいただいた方の名簿については、自主防災組織代表（自治会長）や民生委員児童委員に該当地区の名簿を情報提供し保管･管理していただいております。 **【主な意見】** ● 対象者数がこれからも増えていくことが考えられます。制度について周知を図り､登録率を上げていただきたい。 ● さらに登録率を高める必要があります。当事者の気持ちを確かめた上で、丁寧な説明を行い制度について理解してもらう働きかけが必要だと思います。	B
施策③ 自主防災組織と民生委員児童委員への情報提供	福祉総務課	**【質疑】** ● 要援護者の情報が民生委員児童委員に正しく伝えていますか。 **【回答】** ○ 災害時要援護者避難支援制度の情報更新については、年２回、２月と８月に実施し、個人情報提供の同意をいただいた方の情報については、自主防災組織代表（自治会長）、民生委員児童委員に要援護者名簿や登録カードの写しなどの情報を提供しています。 **【主な意見】** 特になし	A
施策④ いせはらくらし安心メール	市民協働課 交通防犯対策担当	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 情報配信はきめ細かく実施されているので、より多くの市民に利用されるようにＰＲに心がけてください。	B
施策⑤ 防犯パトロール	市民協働課 交通防犯対策担当	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策⑥ 「あなたを守る家」運動への協力	社会教育課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	B

基本目標３　適切な支援へつなげる仕組みづくり

3-1　福祉等に関する情報提供の充実　（資料18Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① ホームページでの情報提供	保健福祉部 各所属 子ども部 各所属	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● コンテンツの更新頻度は重要だと思います。	B
施策② 市広報紙による情報提供	保健福祉部 各所属 子ども部 各所属	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 外国籍の人びとの情報保障が考えられているのでしょうか。	A
施策③ ツイッターによる情報提供	保健福祉部 各所属 子ども部 各所属	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● ツイッターでの情報発信を充実されることは不可欠です。	B
施策④ 保健・福祉サービスメニューガイドの発行	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 保健福祉サービスが一括してわかるガイドは便利です。より多くの市民に有効活用してもらえるように周知していただきたい。	A
施策⑤ いせはら健康家族カレンダーの配布	健康づくり課	**【質疑①】** ● 新聞折り込みのコストは大丈夫ですか。 **【回答①】** ○ 折り込み業者との契約により、適切に配布されています。 金額に関しても予算の範囲内で支払われています。 また平成３１年度版の作成時にコスト削減のため自治会を通しての配布を試みましたが、自治会の負担が大きかったため、新聞折り込みへ戻しました。 **【質疑②】** ● 新聞未購読世帯には届いていますか。全世帯配布の目標の検証はどのようにされていますか。 **【回答②】** ○ 新聞未購読世帯へは、公民館やコミュニティセンター等への配架を広報いせはらにより周知しています。ホームページからもカレンダーのダウンロードが可能です。 新年度カレンダーの配布時にいせはらくらし安心メールでのお知らせを検討しています。 **【主な意見】** ● 新聞を購入しない世帯も増えているため、全世帯配布の方法を再考する必要があると思います。	B

3-2　相談支援体制の充実　（資料19Ｐ～22Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 福祉総合相談	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 関係機関との連携により事業が推進するよう努めてください。 ● 潜在的なニーズがあると思います。来年度以降はコロナ禍で困窮している方々への相談対応が増加するのではないでしょうか。	B
施策② 障害者相談支援事業	障がい福祉課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 事業所の増加は望ましいが、相談支援専門員が不足しており、基幹相談支援センターを中心に市全体の相談支援ネットワークが確立されると良いと思います。 ● 相談件数が増えなかったことより、相談窓口が増えてお互いの顔がより近く、相談しやすくなったことと評価します。	A
施策③ 地域包括支援センター高齢者総合相談	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 相談件数が増えなかった理由を分析していただきたい。	C
施策④ 高齢者総合相談	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 包括との連携を今後も進めてください。	A

3-2　相談支援体制の充実 （資料19Ｐ～22Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策⑤ 生活困窮者自立支援事業	生活福祉課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● ３年が経過し、新しい支援を行うセーフティーネットとして、継続支援が大切ですが、多くの人が就労や社会参加につなげていく効果も必要と思います。 ● 新規相談件数が７６件は妥当の数値なのか分析してください。	A
施策⑥ 重点健康相談、総合健康相談	健康づくり課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 健康相談、未病センターの利用者が増えていることから、事業は有効に展開されていると思います。	B
施策⑦ 子どもの貧困対策推進事業	子育て支援課	**【質疑】** ● 回答率が少し低いと思いますが、アンケート結果とヒアリング結果をリンクされて考察しましたか。 **【回答】** ○ 対象者へのアンケート結果と関係者へのヒアリング結果を基に考察を行い、取組方針の策定を行いました。 **【主な意見】** ● 子どもの貧困対策は重要であり、取組方針の策定、実施へと確実に進めてください。 ● ひとり親家庭では、生活面の負担と共に経済的困窮が課題です。母子家庭は非正規雇用が多いため、子どもの貧困につながる一因となっているように思えます。 ● 調査結果を踏まえた貧困対策に早急に取り組んでいただきたい。	B
施策⑧ 子ども相談・支援	子育て支援課	**【質疑】** ● こども食堂への支援はどのような形で行われていますか。 **【回答】** ○ 子ども食堂を運営するＮＰＯ法人に対し、事業運営に関する相談や市民への周知、助成制度に関する情報提供を行うとともに、フードドライブで収集した食材を提供する支援を行っています。 **【主な意見】** ● 利用者のニーズに対応したセンターの支援策を検討してください。	A
	子ども家庭相談課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策⑨ 発達（療育）相談	子ども家庭相談課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 障がいのある乳幼児にとっては、早期療育がとても重要で相談件数の激増に対応していくのは大変かと思われますが、事業の継続を願います。	A
施策⑩ 子育て支援センター事業	子育て支援課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 実際の利用人数を示していただきたい。アドバイザーやサポートは不足してませんか。 ● 子育て支援センター、子育てひろば、つどいの広場の役割と関係性を明確にしてください。	A
施策⑪ 子ども・若者相談	青少年課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● いわゆる「８０５０」問題へのプレ対応として非常に重要だと思います。	A
施策⑫ 教育相談事業	教育センター	**【質疑】** ● 教育相談員、ＳＣ、学校ボランティア、ＳＳＷから集まる情報は誰が調整していますか **【回答】** ○ 教育相談員とSCは公認心理師・臨床心理士資格を持った副主幹に、学生ボランティアとSSWは担当指導主事に報告があがることになっており、互いに情報を得た時点で共有し、方針と対応を検討したうえで、それぞれの職種に必要な動きをお願いしています。 **【主な意見】** ● 学校側のニーズは高いと思われるので、フルタイムのスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置が望ましいと思います。	A

3-3　サービスの質の向上 （資料23Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 福祉サービス第三者評価制度の周知	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 施策３－３－①と３－３－②の違いがよくわかりません。 ● 法人監査は、毎年すべての法人に対して行われているわけではないので、全法人に行き渡るよう周知方法を考えてください。	A
施策② 福祉サービス第三者評価	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 市内法人で第三者評価制度を利用している法人はまだ少ないので、周知を進めてください。	A
施策③ 介護事業所の外部評価	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策④ 研修会・意見交換会等の開催	障がい福祉課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 研修会・意見交換会等を予定どおり開催し、有意義な取組となっています。	A
	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 研修会・意見交換会等を予定どおり開催し、有意義な取組となっています。	A

3-4　関係機関等との連携強化による支援体制づくり （資料24Ｐ・25Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① ふれあい収集事業	環境美化センター 障がい福祉課 介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 地味ですが、とても重要な事業で高い関心を持って見ています。 ● 今後、ますますニーズが増えると思われますが、職員対応で実施していけますか。	A
施策② 小型家電の回収モデル事業	環境美化センター 障がい福祉課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 件数が増加しています。今後もこのペースで増加するのであれば、対応を検討する必要があります。	A
施策③ 地域見守り体制の充実	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 様々な機会を捉えて地域見守り体制を充実させるため、担当職員は広い視点を持って事業を実施してください。	A
施策④ 事業所開設に向けた相談・助言	障がい福祉課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 新規事業所開設数が目標を上回っており評価できます。	A
施策⑤ 地域密着型サービス施設の整備	介護高齢課	**【質疑】** ● 公募が不調に終わった地域密着型介護老人福祉施設について、令和２年度に改めて公募することは難しかったのでしょうか。 **【回答】** ○ 第７期伊勢原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく介護保険サービス事業者の公募を実施しましたが、応募者はありませんでした。公募の状況は次のとおりです。 １　公募施設 (1) 認知症対応型共同生活介護　　１箇所 (2) 地域密着型介護老人福祉施設　１箇所 ２　公募期間 令和２年４月２２日から５月２０日まで **【主な意見】** ● 小規模多機能型の介護施設の運営が円滑に進むよう、指導をお願いします。	B

3-4　関係機関等との連携強化による支援体制づくり（資料24Ｐ・25Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策⑥ 高齢者支援事業	介護高齢課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 実績値だけでは、測れない部分もあると思います。 ● 高齢者の在宅支援として有益な事業と思われるので、ニーズの検証等見直しを進めて続けてください。 ● 潜在的なニーズがあると思われますが、民間事業者のサービス提供が増えてきていることから、行政の役割を見直す時期に来ているのではないでしょうか。 ● 様々な状況にある高齢者に対応した支援事業ができていると思います。	B
施策⑦ 育児支援家庭訪問事業	子ども家庭相談課 子育て支援課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 専門職やヘルパーの派遣は、特に早期に的確に行える行政の支援が必要だと思います。 ● 年々利用者は増えていますので、事業の継続を図ってください。	B

3-5　権利擁護の推進（資料26Ｐ・27Ｐ）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 成年後見・権利擁護推進センターの利用促進　【重点目標】	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● センターにおける事業の周知は広がってきていますが、利用促進に向けて継続した働きかけが必要だと思います。 ● 本当に周知が図られているのか、利用が進んでいるのか、調査などにより把握していただきたい。	A
	社会福祉協議会	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** 特になし	A
施策② 市民後見人の育成と活動支援　【重点目標】	福祉総務課	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 市民後見人の数をもっと増やしてください。	A
	社会福祉協議会	**【質疑】** 特になし **【主な意見】** ● 市民後見人の育成が進んでおり、後見人活動の支援も含め、今後も円滑に事業を実施していただきたい。	A
施策③ 虐待防止事業	障がい福祉課	**【質疑】** 特になし	A
	介護高齢課	**【主な意見】** ● 児童、高齢者、障がい者とも、これから虐待問題は表面化してくることが増えると思われ、ネットワーク形成、関係機関の協力が必要となってくると思います。 ● 高齢者に対して介護者が虐待を加えるなど高齢者に対する人権侵害が深刻な社会問題となっています。高齢者虐待は家庭内で起こることが多く、表面化しにくい地域にいる私たちが問題を共有し地域全体で見守る取り組みが大切です。	A
	子ども家庭相談課		A